

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 210-0866
 住 所 神奈川県川崎市川崎区水江町6-20
 氏 名 隅田冷凍工業株式会社
 取締役社長 田淵 馨

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	隅田冷凍工業株式会社		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 川崎区水江町6-20		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	H	運輸業、郵便業
	中分類	47	倉庫業
主たる事業 の内容	主として、冷蔵倉庫を運営し、取引先の貨物を低温で保管・管理している。		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	2,266	kl
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂

(第2面)

計 画 期 間	2019 年度 ~ 2021 年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	

備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。

2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。

3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。

4 ※印の欄は記入しないでください。

5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策計画

1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

(1) 温室効果ガス排出量削減に向けた方針

事業者全体の基本方針

次の方針により、地球温暖化対策を進めている。

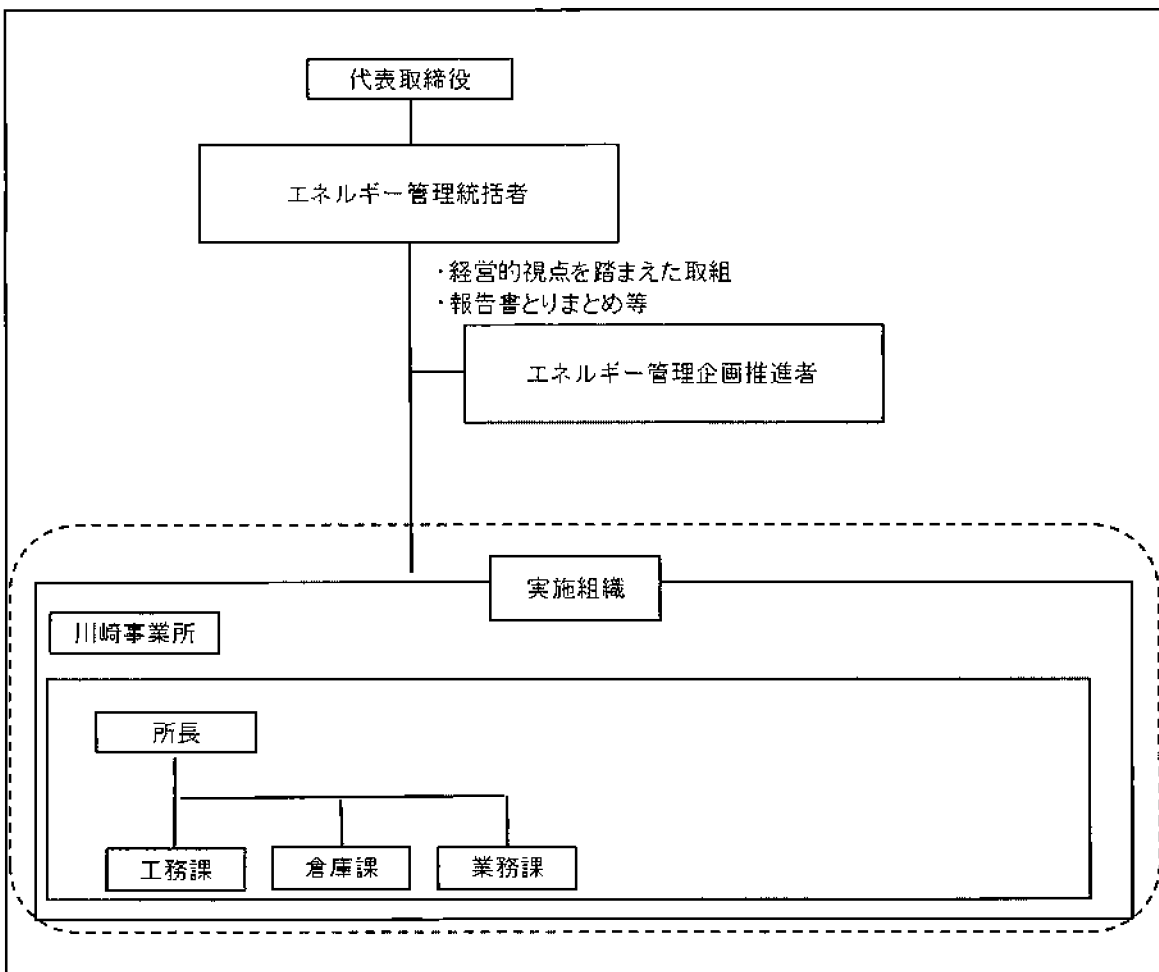
- ①地球温暖化対策の取組を組織的に行い、継続的に対策を推進する。
- ②目標を明確に定め、温室効果ガス排出量の削減に取り組む。

(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（PDCAサイクル）を行うための方針

- ①CO2排出量削減計画に基づき、省エネ及び排出量削減の目標設定を行い、年度計画を策定する。具体的な実施項目を年度毎に開催する委員会で確認する。
- ②年度計画の実施項目の進捗管理とエネルギー使用量および排出量の実績管理を行い、運転・設備保全上での省エネ課題を整理し、年度計画の見直しを行う。
- ③委員会で省エネおよび排出量削減効果の検証を行い、評価を行う。その評価により実施項目の継続・停止の判断をする。

以上の基本方針によりPDCAサイクルを実行・管理する。

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量（(実)は実排出量を、(調)は調整後排出量を示す。以下同じ。）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等		
基準	年度	2018				年度
目標	年度	2021				年度
基準	排出量	(実)	5,709	t-CO ₂	(実)	t-CO ₂
		(調)	5,709		(調)	
目標	排出量	(実)	5,535	t-CO ₂	(実)	t-CO ₂
		(調)	5,642		(調)	
削減量		(実)	174	t-CO ₂	(実)	t-CO ₂
内訳	対策実施による削減量	(実)	174	t-CO ₂	(実)	t-CO ₂
	上記以外の削減量	(実)	0	t-CO ₂	(実)	t-CO ₂
削減率		(実)	3.0	%	(実)	%

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等（任意記載）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等	
原単位等の活動量					
原単位の単位					
基準年度の値					
目標年度の値					
削減率				%	%

ウ 目標設定に関する説明

<p>温室効果ガスの排出量の削減を図る為、年平均で1%以上削減する事を前提に目標を設定しました。</p> <p>①動力系の使用電力量について 平成27年6月に1号倉庫の冷却塔にスケール除去装置を設置した為、以降、徐々に冷却塔の環境が改善されており、冷凍機の熱交換効率の向上により、使用電力の削減が見込まれます。 今後、更にスケール除去が進むことにより、使用電力の削減が進む事を期待しています。</p> <p>②電灯系の使用電力量について 7年前より、照明設備のLED化を進めており、事務所の照明や1号倉庫の荷捌き、倉庫内の200W電球倉庫階段の非常灯、事務棟のトイレ内照明、接車パースの庇灯などは既にLED化が終わっております。 今後は、冷凍倉庫内の蛍光灯照明や街灯のLED化を進めていきます。</p>

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）（任意記載）

--

4 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 措置の内容

ア 計画期間に実施する措置の内容 (別表第1から6等を参考に記載してください。)

計 画	<p>1. 冷凍機の運転効率改善 2015年6月1日 冷却塔にスケール除去装置を設置済。 スケール除去に伴う運転効率の向上により、使用電力の削減が見込まれる。 (7年間で熱交換効率が約60%から100%に改善見込み)</p> <p>2. ドックシェルター 外気侵入防止 ①外気侵入量が少ない最新型へ改修 (対象17基中、15基完了) 残り2基 ②準対応車種への隙間塞ぎによる外気侵入防止の徹底。</p> <p>3. HF蛍光灯のLED化 (数量は対象数) 1 冷倉庫 冷凍庫内蛍光灯 352本 (残219本) 2 冷倉庫 冷凍庫内蛍光灯 390本 (残134本)</p> <p>4. その他のLED化 (数量は対象数) 屋外水銀灯 対象12本 (残6本)</p>
第1年度	
第2年度	
第3年度	
<p>計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)</p>	

イ 実施済みの主な温室効果ガスの排出の量の削減対策内容

<p>1. 冷凍機の運転効率改善 2015年6月1日 冷却塔にスケール除去装置を設置済。 スケール除去に伴う運転効率の向上により、使用電力の削減が見込まれる。 (7年間で熱交換効率が約60%から100%に改善見込み)</p> <p>2. ドックシェルター 外気侵入防止 ①外気侵入量が少ない最新型へ改修 (対象17基中、15基完了) 残り2基 ②準対応車種への隙間塞ぎによる外気侵入防止の徹底。</p> <p>3. HF蛍光灯のLED化 (数量は対象数) 1 冷倉庫 冷凍庫内蛍光灯 352本 (残219本) 常温蛍光灯 274本 (LED化完了) 2 冷倉庫 冷凍庫内蛍光灯 390本 (残134本) 常温蛍光灯 190本 (LED化完了)</p> <p>4. 階段非常灯 (常夜灯) のLED化 (数量は対象数) 1 冷倉庫 38灯 (LED化完了) 2 冷倉庫 20灯 (LED化完了)</p> <p>5. 玄関ホール・トイレ内のダウンライトLED化 (数量は対象数) 事務棟 47個 (LED化完了)</p> <p>6. その他のLED化 (数量は対象数) バース庇灯 26本 (LED化完了) 屋外水銀灯 対象12本 (残6本)</p>

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 基準年度までに実施した再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(検討済みの場合は「○」、未検討の場合は「×」を記載し、検討済みの場合は検討結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	検討の有無	検討結果
太陽光	○	太陽光発電を検討したが屋根の強度が足りない為、導入できない事が判明した。
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他 ()		
その他 ()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 基準年度までに実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入・検討状況

(導入済みの場合は「○」、導入検討中の場合は「△」、導入予定なしの場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	導入等の状況	設備等の種類	導入等の状況
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 ()	
EV、PHV、FCV	×	その他 ()	

5 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

計 画	無し
第1年度	
第2年度	
第3年度	

6 その他、地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

計 画	1. 廃棄物の減容化 2. リサイクル化の推進
第1年度	
第2年度	
第3年度	

7 基準年度のエネルギー起源CO₂の排出の量等の実績 (1、2号該当者等)

(1) 事業者単位

ア エネルギー起源CO₂の排出量

(実)	5,709	t-CO ₂
(調)	-	

イ 原油換算エネルギー使用量

2,266	K L
-------	-----

ウ 事業所の数

1

(2) 事業所等単位

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500k l 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
隅田冷凍工業株式会社	川崎区水江町6-20	5,709 t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k l 以上 1,500k l 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂